

さらさらになる市職員の体制

平成26年度中に採用計画を検討

質

一般職以外の職員について、特に土木技師や保健師などの採用は、これからどうしていくのか。

早急に計画せねばならないと考えるが、検討しているのか。



辞令交付

答 市長

土木技師や保健師および給食調理場、清掃センターに勤務する技能労務職員などの職種については、高年齢層の職員の構成比率が一般職よりさらに顕著な状況にあることから、

これら専門職などの採用についても今後の課題とされているところです。

現時点では、具体的な数値をもって採用計画などのお示しはできませんが、平成26年度中

には第3期集中改革プランの策定を予定していることから、当該計画の策定議論の中で、今後の採用計画を含め十分検討していきたいと考えています。



市民クラブ 衛 藤 竜 哉

これからの地域コミュニティ整備は

～ 広域的な対応が可能な組織の設立が必要 ～

質

施政方針の中から、市長の2期目に掲げた政策、今後の展望について伺う。

①「人にやさしく、安心して暮らしているまち」について、コミュニティの整備に関してどのような検討がされたのか。

②市内4カ所で導入された地域支援員制度は、それぞれの地域で何らかの変化が現れたのか。経過と現状は。

また、自治区の再編計画がなかなか進まない状況で、新たな手立てがあるのか。

③自治区では、あらゆる行事、作業が高齢化の下、簡略化、廃止化が少なくない。市民のやる気、活力が無くならないためにも、きざりと光る手立てが必要と考えるが市の判断は。

答 市長

地域コミュニティの整備については、各まちづくり委員会に諮問し検討を行ったところ

です。 過疎・高齢化に伴う多くの課題解決のためには、個別集落ではなく、広域的な対応が可能な地域コミュニティ組織の設立が必要と考えています。

各振興協議会の経過と現状について、2年目となる上緒方振興協議会は、活動を通じ、地域コミュニティの重要性を再確認し、情報の共有を行いながら組織の再構築のための話し合いを進めているところ

です。 大野町の土師振興協議会は、平成24年4月に設立し、校区内の全戸訪問が実施され、「土師地区でいつまでも安全・安心な生活を送ろう」をテーマに取り組みを始めているところ

緒方町の長谷川地区振興協議会は、平成25年5月に設立され、防災対策、高齢者の買い物支援などの課題解決に取り組んでいるところ

です。 三重町の松尾・鷺谷振興協議会は、平成25年6月に設立し、旧南小学校跡地を拠点に「地元に戻ってきたくなるような地域づくり」を目指し取り組んでいるところ

です。 地域担当職員の中から任命した地域づくり推進員を各振興協議会に配置し、地域支援員と共に連絡調整や情報提供などを行い、地域課題の解決に向けた今後の在り方を含め、地域づくりを進めているところ

自治会の再編計画は千歳町、犬飼町を除いて再編が進まない状況ですが、今後の計画は、市自治会連合会において「行政区再編推進委員会」を設置し、行政区の再編に向けた支援策などを検討します。

平成26年度には、新たな支援として「協働によるまちづくり」を推進するために「地域づくり交付金」を交付し、自治意識と連帯感を醸成し、安全・安心で暮らしやすい地域を形成していくための財源を支援します。 また、新たな地域が振興協議会を設立する財源として、「地域づくり推進補助金」を交付します。



あかい屋根の郷